

未来づくり懇談会（下伊佐野）会議録

日 時：平成28年9月27日（火）

19:00～20:10

場 所：下伊佐野自治公民館

出席者：市長、総合政策課長、

商工林業観光課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19:00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な泉地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、小さな拠点構想等について説明。

Q1 那須町では、子供一人当たり100万円がでる分譲地がある。矢板市にもそういったものはあるか？

A1 矢板市では定住促進補助事業を行っている。45歳以下の方が2人以上の世帯で矢板市に転入・転居した際に補助金がでる。泉地区は家を建てる数も少ないので矢板市全体の10%程度となっている。

◆「暮らし」のびのび定住促進補助金

平成23年度～平成29年度

利用件数 546件 1843人 交付金額 281,800千円 転入世帯 30.4%

平成29年度実績

利用件数 91件 296人 交付金額 48,500千円 転入世帯 40.7%

平成30年4月より補助金額を拡充

用地購入 20万円(10万円増)

市内業者を元請とする新築 10万円(5万円増)

特定地域加算(矢板駅西地区) 20万円(新設)

新築住宅に太陽光発電設備を設置 最大10万円(新設)

O1 小さな拠点はコミュニティーとして定年退職した人間には良いかもしれないが、根本的な雇用となるので小さな拠点では弱いと思う。若い人が流出していくのは雇用がないことに尽きると思う。

5 意見交換

Q 1 用排水整備事業の中山間整備事業について、農業振興課に確認したところ申し込みがいつぱいでH30年度からしか申し込めない。継続的な事業として市で取り組んで欲しい。

A 1 継続して取り組めるように努力していきたいと思うが、中山間整備事業は下伊佐野だけというわけにはいかず、ある程度のボリュームがないと進められない。市内の他の要望箇所についてもよく調査する必要があると思う。

Q 2 スクールバス利用について、現在は小学校の統廃合により通学距離が3km以上になった子供と統廃合関係なく通学距離が3km以上の子供が希望すればスクールバスを利用できる。3km未満の子供は集団登校で通うことになっているが、少子高齢化が進み子供が少なくなっているため、スクールバス利用の条件の見直しを考えてほしい。

A 2 下伊佐野は元から泉小学校の学区で徒歩で通学していたことからスクールバス利用に一足飛びにいかない事情がある。下伊佐野だけというわけにはいかないため泉小学区全体の状況をよく把握し、必要な対応をとらせていただく。

Q 3 防災行政無線について、下伊佐野地区に限ったことでないが地域全体に聞こえるようにして欲しい。

A 3 防災無線については聞こえないという意見と音がうるさいという意見がありなかなか難しいものがある。防災無線と同じ内容を携帯電話のメールで配信するサービスもあるのでご利用いただきたい。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

Q 4 農家の鳥獣被害について。特にシカ、イノシシがひどい。10月1日から最高額6000円の補助金額がでるようだが、6000円ではガソリン代にもならない。塩谷町では1万3000円。環境省で全国に8億円の補助金が県出ているので、ハンターに補助金がまわるようにして欲しい。

A 4 シカ、イノシシはこれから増えてく一方。市としても年度内に猟友会を中心とした捕獲実施隊の立ち上げを進めているので、ご協力をお願いしたい。

平成 29 年 4 月	矢板市鳥獣被害対策実施隊を設置
-------------	-----------------